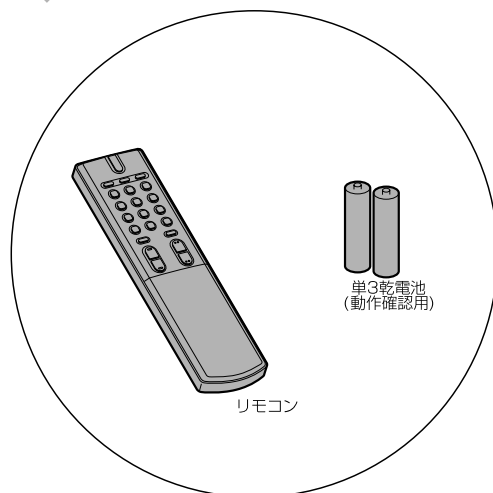
液晶テレビ 取扱説明書

このたびは、フナイ製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本機の性能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管してください。

製品本体やリモコンなどのイラストは、実際の製品と形状が異なる場合があります。
本書は、リモコン主体とした説明となりますがご了承ください。

型番 **FL-20RV**

付属品が同梱されているかお確かめください。

保証書について

・保証書に販売店名と購入日（購入日を証明する納品書や領収書）の記入、納品書や領収書がありませんと保証期間内でも万一故障がある場合に有償修理になることがあります。内容をご確認の上、大切に保管してください。

L0330JA
1EMN20152 ★★★★

安全にお使いいただくために

この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。

絵表示について
・この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

△記号は注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

絵表示の意味

 ・必ず指示に従い、行ってください。

 ・絶対に行わないでください。

 ・絶対に触れないでください。

 ・絶対に濡らさないでください。

 ・注意してください。

 ・破裂に注意してください。

 ・必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

 ・絶対に分解/修理はしないでください。

 ・絶対に水場では使用しないでください。

 ・絶対に濡れた手で触れないでください。

 ・高温に注意してください。

 ・指をはさまないよう注意してください。

家庭用品品質表示法に基づく表示
■使用上のご注意
・内部の温度が上昇しますので、設置の際は通気のために製品の周囲に間隔をおいてください。
・温度の高い場所や湿気の多い場所で使用しないでください。
・感電の危険があるため、裏ブタを開けないでください。
・ちり、ほこりを取るため内部を掃除するときは、販売店、電気店等に相談してください。
表示者　大阪府大東市中垣内7丁目7番1号　船井電機株式会社

⚠警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠警告

交流100V

本機を指定(表示)された電源電圧(交流100V)以外で使用しない

■ 指定(表示)以外で使用すると火災・感電・故障の原因になります。
■ 接続する前に指定の電源電圧に適合しているかもう一度確かめてください。

プラグを抜く

画面が映らない、音声が出ないなどの故障状態のときは電源プラグをコンセントから抜く

■ そのまま使うと火災・感電の原因になります。
お買い求めの販売店にご連絡ください。

ほこりをとる

電源プラグのほこりなどはとる

■ 絶縁不良となり火災・感電の原因となります。
■ ほこりをとる際は、かわいた布でふいてください。

使用禁止　プラグを抜く

本機や電源コードが異常なとき(煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする)は使うのをやめ電源プラグをコンセントから抜く

■ そのまま使うと火災・感電の原因になります。お客様による修理は危険ですからお買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

本機内部に水や異物が入ったときは使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く

■ そのまま使うと火災・感電の原因になります。
お買求めの販売店にご連絡ください。
■ 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電池は乳幼児の手の届かないところへおいてください

■ 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

安全にお使いいただくために

⚠警告

使用禁止　プラグを抜く

本機を落としたり、キャビネットを破損した場合、電源プラグをコンセントから抜く

■ そのまま使うと火災・感電の原因になります。
　お買求めの販売店にご連絡ください。

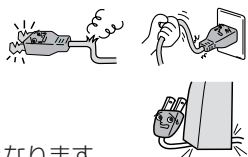
禁止

本機をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない

■ 落ちたり倒れたりしてけがの原因となるため注意してください。

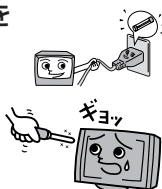
電源コードを傷つけない

- 破損させない　・加熱しない
- 引っぱらない　・加工しない
- 切断しない　・ねじらない
- 曲げない　・重いものをのせない

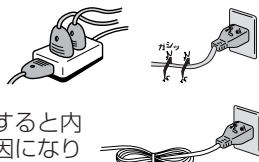
■ そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源は、必要に応じてブレーカーやヒューズを設置した専用回路からとる

■ 発火の原因になります。

本機の開口部(通風孔など)から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込まない

■ 火災・感電の原因になります。
　<特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。>

電源コードを正しく使用する

- 束ねない
- 延長・タコ足配線しない
- 固定しない

■ 束ねての使用やステップルなどで固定すると内部の電線が切れ発熱し焼損・発火の原因になります。
■ タコ足配線すると発熱し火災・故障の原因になります。

電源プラグやコードは温度や湿度の高いところ(こたつの中やサウナなど)で使用しない

■ 感電・火災の原因になります。

電源プラグは確実に差し込み、抜き差しが弱くなったものは使用しない

■ 不完全な差し込みは接触不良となり発熱・火災・感電の原因になります。
■ 時々点検をしてください。

改造・分解禁止

本機を改造または分解をしない

■ 裏ぶた、キャビネット、カバーは外さないでください。
　感電の原因になります。
■ 内部の点検・調整・修理は、お買求めの販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴りだしたらアンテナ線や電源プラグにふれない

■ 落雷すると誘導電雷により感電することがあります。

禁止

本機のそばに水などの入った容器や金属物を置かない (花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)

■ こぼれて本機の内部に入った場合、火災・感電の原因になります。

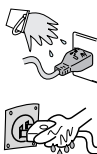
水場での使用禁止

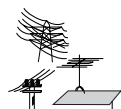
本機を水でぬらさない

■ 海岸・水区や雨天・降雪時の窓辺での使用や設置に注意してください。
■ 風呂場では使用しないでください。
■ 内部に水が入ると火災・感電・故障につながります。

禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり水や液体をかけない

■ 水は電気を通しますので感電の恐れがあります。
■ 必ずかわいた手で持ってください。

アンテナは送配電線から離れた場所に設置する

■ 倒れた場合は感電事故の原因になります。

安全にお使いいただくために

警告

電源プラグやコードが傷んでいる場合(刃の曲がり、プラグカバーの傷み、芯線の露出、断線など)は電源プラグをコンセントから抜く

■ そのまま使うと火災・感電の原因になります。お買求めの販売店にご連絡ください。

アルカリ乾電池を使用する場合は、被覆がやぶれたり、はがれていないものを使用する

■ 乾電池そのものがショートし、やけどする危険があります。

電源コードを動かすと電源が入ったり切れたりするときや、コードが部分的に熱いときは使用しない

■ コード内部の電線が切れているため、使用すると感電・火災の原因になります。

電源プラグやコードは乳幼児が触れたり、手の届くところに放置しないでください

■ 感電の原因になります。

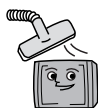
⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意

掃除

年に一度くらいは本機内部の掃除を依頼する

■ 内部にほこりがたまったまま使用すると火災や故障の原因となることがあります。

■ 内部の掃除やその費用については、お買い求めの販売店にご相談ください。

正しく入れる

乾電池は正しく挿入する

- プラス(+)とマイナス(–)の向きを正しく入れる

■ 誤って挿入すると破裂・液漏れによりけがや周囲を汚損する原因となることがあります。

海水や塩害に注意

■ 海辺にお住まいのかたは窓からの海水や塩害に注意してください。

設置禁止

本機を次のような場所に置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 熱器具の近く
- 他のテレビの近く　・直射日光の当たる場所
- 押し入れや本棚など風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など高温になるところ

■ 発熱による変形や火災・感電・故障の原因になります。

高温注意

電源コードを熱器具に近付けない

■ コードの被覆が溶けて火災/感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

お手入れの際、電源プラグをコンセントから抜く

■ 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

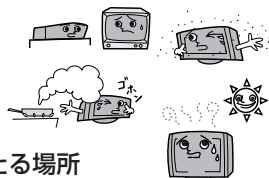
次のような場合、電源プラグをコンセントから抜いておく

- 長時間外出するとき
- 旅行をするとき

■ 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本機を移動させる場合、電源プラグをコンセントから抜く

- アンテナ線や外部の接続線もはずす

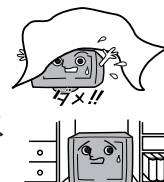
■ そのまま移動するとコードに傷がつき火災・感電の原因となります。

禁止

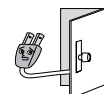
電源コードを引っ張らない

■ 電源プラグを抜くとき、電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

本機の通風孔をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 本機の設置は、壁から10cm以上の間隔をおく

■ 内部に熱がこもり火災の原因になります。

電源コードを引き回さない

■ 戸を介して別の部屋へ引き回さないでください。コード内部の電線が切れて焼損や火災の原因となります。

液晶パネルの破損

■ 液晶パネルはガラスでできています。液晶パネルが破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。けがをするおそれがあります。

安全にお使いいただくために

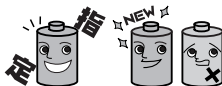
⚠注意

禁止

本機の上に重いものを置かない/乗らない
■ バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
■ 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電源プラグに洗剤や殺虫剤をかけない
■ 発煙や発火の原因となります。

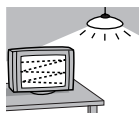
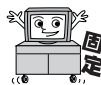
本機を持ち運ぶとき振動や衝撃をあたえない
■ 故障の原因となることがあります。

指定されていない電池の使用。新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
■ 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

スタンドについて
■ 液晶テレビを前後に傾けるとき、スタンド部に手を近づけないでください。指をはさんでけがをするおそれがあります。
■ 角度を調整するときは、両手でゆっくり操作してください。片手で行うと、転倒するおそれがあります。

壁に掛けて使用しない
■ 放熱、強度の点から故障、落下の原因となることがあります。

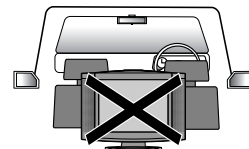
破裂注意

乾電池の取扱いに注意
・ショートさせない　・分解・加熱をしない
・火の中に投入しない
■ 破裂したりする危険があります。

眼精疲労ついて
■ ディスプレイとして使用するときは、作業場を300～1000 ルクスの明るさにしてください。また、連続作業するときは、1時間に10分～15分程度の休息をとってください。長時間液晶テレビを見続けると、目に疲労が蓄積されます。

本機をキャスター付きテレビ台に設置する場合には、キャスター止めをする
■ 動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、お買い求めの販売店にご相談ください

安定した場所に設置する
■ 本機は安定した場所に設置してください。転倒し、けがの原因となる事があります。

使用禁止

本機を車の中で使用しない。自動車内に放置しない。
■ 本機は車載用ではありません。
■ 車載で使用した場合、車特有のノイズをひろい、音声や画像が乱れます。
■ 窓を閉めきった自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火、発煙事故の恐れがあります。また冬場や雨期には結露が発生し、本機の故障の原因になります。
■ 市販されている電源コンバーターなどや、お車に付いているACコンセントを使って本機を使用しないでください。

本液晶テレビの廃棄
■ 事業者が廃棄する場合
本液晶テレビを廃棄するときには廃棄物管理表（マニュフェスト）の発行が義務づけられています。詳しくは各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。廃棄物管理表は、（社）全国産業廃棄物協会に用意されています。
■ 個人が廃棄する場合
本液晶テレビの蛍光管には、水銀が含まれております。本液晶テレビを廃棄するときは、お買い求め先にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則に従ってください。

愛情点検　**●長年ご使用の製品の点検を！**（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか
- ●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- ●上下または左右の映像が欠けて映る。
- ●映像がときどき消えることがある。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源スイッチを切っても映像や音が消えない。
- ●内部に水や異物が入った。

ご使用中止
このような時は、故障や事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ずお買い求めの販売店にご連絡ください。

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

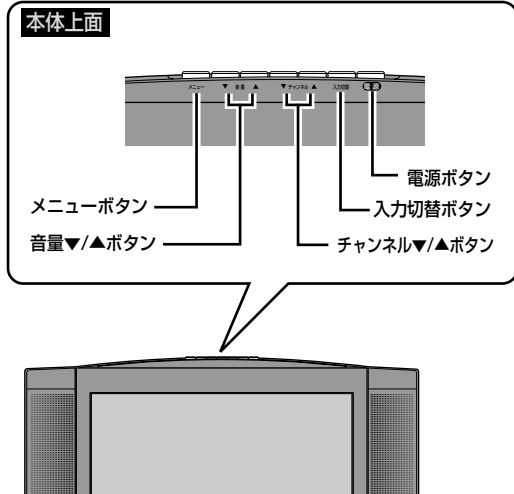
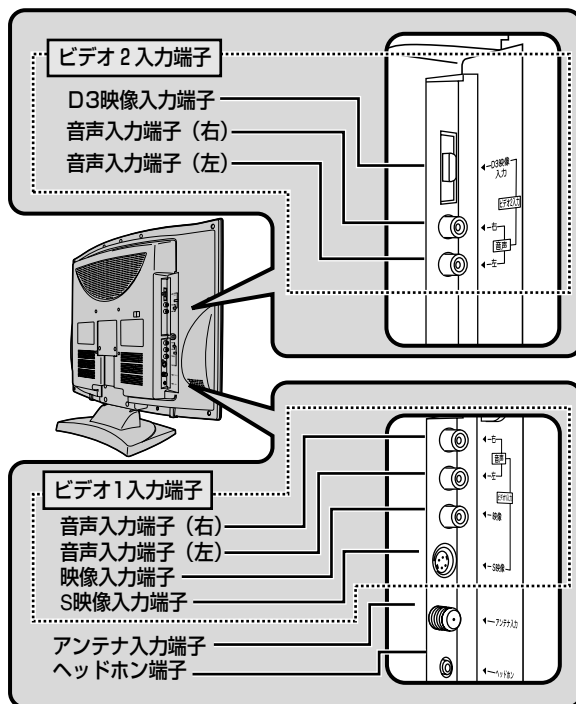
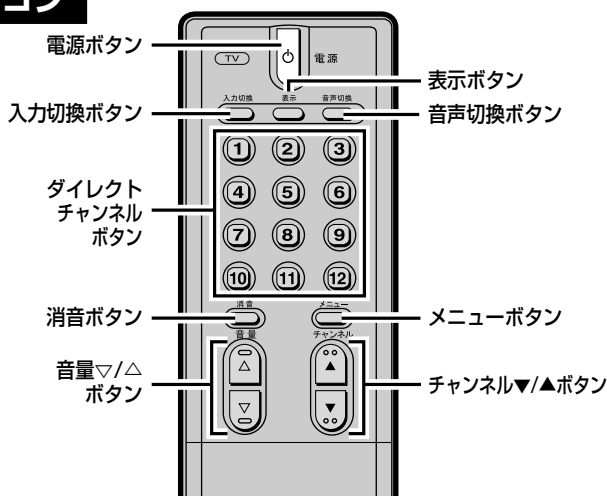
■ ご注意

本機の近くで携帯電話およびPHSなどを使用すると、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。この現象は本機の故障ではありません。携帯電話およびPHSなどを使用するときは、本機から離れた場所でご使用ください。
● ビデオの上に本機を直接置いた場合、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような状況が生じた場合は、ビデオと本機を離してください。

各部のなまえ

アンテナ線(VHF,UHF,CATV等)を接続しないと正しく受信できません。

本体上面

リモコン

電源ボタン
表示ボタン
入力切換ボタン
音声切換ボタン
ダイレクトチャンネルボタン
消音ボタン
メニューボタン
音量▽/△ボタン
チャンネル▼/▲ボタン

リモコンの機能説明	
電源ボタン	電源の「入」「切」に使用します。
ダイレクトチャンネルボタン	1～12のCH番号に設定されたチャンネルの選局に使用します。
メニューボタン	チャンネルや画質の設定等に使用します。
音量▽/△ボタン	本機の音量調整や設定時のカーソル移動に使用します。
消音ボタン	本機の音声を消します。
チャンネル▼/▲ボタン	チャンネルの選局や、設定時のカーソル移動に使用します。
入力切換ボタン	TVと外部入力との切り換えに使用します。
音声切換ボタン	ステレオ放送を受信したときは、ステレオ / モノラル、二カ国語放送を受信したときは主音声 / 副音声 / 主：副の切り換えをします。
表示ボタン	チャンネル番号などの情報を表示します。

あどばいす

- リモコン操作ができる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗していますので新しい乾電池に交換してください。
  (付属の乾電池は動作確認用です。ご使用の状態によって短期間で消耗することがあります。)
- 新しい乾電池と古い乾電池、また種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池をショートさせたり分解や加熱、また火の中に投入したりしないでください。
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- リモコンを直射日光の当たる場所には置かないでください。誤動作することがあります。

本体背面

リモコンの使いかた

リモコン乾電池の入れかた

1 フタをスライドさせる。

2 フタをななめ方向に押し、内部のストッパーを外す。

3 フタをはずす。

4 単3乾電池を入れる。

・＋－を確かめてください。

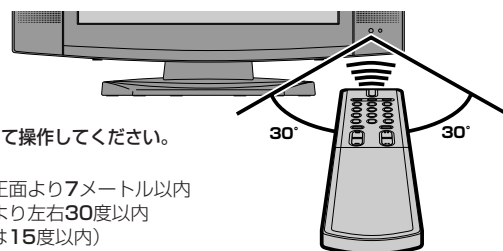
5 フタをつける。

6 フタを上部から押し、リモコンにはめ込む。

「アルカリ乾電池ご使用の注意」
アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれていないものをご使用ください。乾電池そのものがショートし、やけどする危険があります。

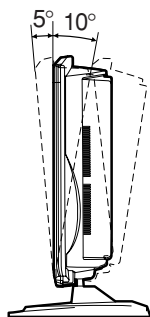
リモコン受光部

・リモコン受光部にむけて操作してください。

受信許容範囲
距離－リモコン受光部正面より7メートル以内
角度－リモコン受光部より左右30度以内
（但し、上からは15度以内）

ほかのフナイ製品を複数設置される場合、本機のリモコンを操作した際に同時に動作することがあります。リモコンから発する赤外線の波長が、共通の波長を使用しているために起こる現象です。

同時動作を防ぐには、ほかのフナイ製品のリモコン受光部を、赤外線を透さないもの（雑誌など）で遮るようにしてください。

チルトスタンド

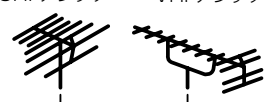
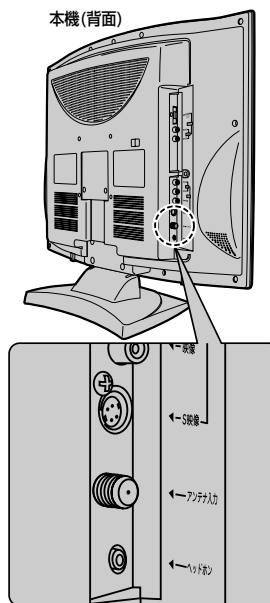
チルトスタンド
スタンドの角度を変えることで、お好みの角度に本機を傾けることができます。

テレビをご覧になるには

1 アンテナ線をつなぐ。[**アンテナ線のつなぎかた(➥ このページ)**]

2 電源プラグを差し込み、電源を入れる。

3 自動チャンネル設定をする。[**自動チャンネル設定(➥ 8ページ)**]

4 **チャンネル▼/▲ボタン**または**ダイレクトチャンネルボタン**で、お好みのチャンネルを選局する。(➥ 8ページ)

アンテナ線のつなぎかた

※ ビデオを接続する場合は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

ー アナログ放送からデジタル放送への移行について ー

デジタル放送への移行スケジュール
地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で２００３年１２月から開始され、その他の地域でも、２００６年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は２０１１年７月に、ＢＳアナログ放送は２０１１年までに終了することが、国の施策として決定されています。

アナログ放送受信用のテレビでデジタル放送をご覧になるには
別売りのデジタルチューナーを接続することによりデジタル放送をご覧頂けます。ただし、受信する画質や縦横比（アスペクト比）はテレビの種類により異なります。なお、受信には、デジタル放送に対応したアンテナシステムが必要です。また、地上デジタル、ＢＳデジタル、１１０度ＣＳデジタル共用タイプのチューナーであれば、一台でそれぞれの放送をご覧頂けます。

受信チャンネル

■ 自動チャンネル設定（アンテナ線を必ず接続してください）

例えば… ● **地域によって**は、主にVHF放送の1CH/3CHのような奇数チャンネルが放送されていない場合もあります。
チャンネル設定を行えば、必要のない空きチャンネルを自動的に飛び越して選局ができ、希望のチャンネルがすぐに楽しめるようになります。

1 電源を入れて （メニュー） を押す。

・**メニュー画面**になります。

画質調整
自動チャンネル調整
手動チャンネル調整
調光　［明るい］
おやすみタイマー［切］
選ぶ：▼/▲
決める：△
終る：メニュー

2 （チャンネル ▲/▼） を押す。

・**チャンネル▼/▲ボタン**で、**自動チャンネル設定**を選びます。

画質調整
自動チャンネル調整
手動チャンネル調整
調光　［明るい］
おやすみタイマー［切］
選ぶ：▼/▲
決める：△
終る：メニュー

3 （音量 △） を押す。

・**チャンネルサーチ画面**にします。

自動チャンネル設定
1－　7－
2－　8－　チャンネルサーチ
3－　9－
4－　10－
5－　11－
6－　12－　サーチ開始：△
終る：メニュー

4 をもう一度押す。

・チャンネルサーチを開始します。
・チャンネルサーチ中は画面のチャンネルサーチの文字が点滅します。
・チャンネルサーチがC63chまで終えると、自動的に最小チャンネルを表示し通常画面に戻ります。必ずC63chが表示されるまでお待ちください。

2

※右上にチャンネルが表示されたら選局完了です。チャンネル▼/▲ボタンまたはダイレクトチャンネルボタンを押して正しく受信しているかお確かめください。正しく受信しない場合は“アンテナ線のつなぎかた”をもう一度お確かめのうえ、自動チャンネル設定を行ってください。
ダイレクトチャンネルボタンで操作したときのみ
※チャンネル設定された表示番号は「水色」で表示されます。
チャンネル設定されていない表示番号は「紫色」で表示されます。

自動チャンネル設定(受信ステップ)について

(1)【VHF】　1ch～12ch
↓
(2)【UHF】　13ch～62ch
↓
(3)【CATV】　C13ch～C63ch

・上記の順に自動チャンネル受信設定をしていきます。
・設定には多少時間がかかりますが、ご容赦ください。

※CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ホームターミナル(アダプター)が必要になります。CATVの受信は、サービスの行われている地域のみです。詳しくは、CATV会社にご相談ください。

あどばいす

ご購入の際は、VHF放送の1ch～12chが受信できる状態になっています。
・チャンネル▼/▲ボタンを使用して、飛び越し選局するには、受信チャンネルの設定が必要です。
・VHF/UHFチャンネルを受信する画面表示番号や受信チャンネルを変更するには、チャンネル変更の操作を行ってください。
・引越しなどでお住まいの地域が変更になった場合は再度チャンネル設定を行ってください。
・本機は24チャンネル分を記憶することができます。　自動チャンネルサーチの途中で24チャンネル分がすべて記憶された場合、その時点でチャンネルサーチは終了します。
・ダイレクトチャンネルボタンでは、1～12のCH番号に設定されたチャンネルをダイレクトに切り換えできます。
・13～24のCH番号に設定されたチャンネルは、チャンネル▼/▲ボタンで操作してください。

■ 見たくない(不要な)チャンネルをスキップ(飛び越す)するには

⇨チャンネル▼/▲ボタンのみ対応

例えば… ● 3チャンネルをスキップ(飛び越す)したい場合…

1 （メニュー） を押します。

・**メニュー画面**になります。

画質調整
自動チャンネル調整
手動チャンネル調整
調光　［明るい］
おやすみタイマー［切］
選ぶ：▼/▲
決める：△
終る：メニュー

2 （チャンネル ▲/▼） を押して、**手動チャンネル設定**を選びます。

（音量 △） を押すと、**手動チャンネル設定画面**になります。

3 （チャンネル ▲/▼） を押す。

・**チャンネル▼/▲ボタン**で、**CH番号の3番**を選びます。

受信チャンネル（つづき）

4 を押す。

• カーソルが受信チャンネルに移動します。

5 を押す。

• **受信チャンネル**が**空白**に変わります。

6 メニュー を押す。

• **通常画面**に戻ります。
CH番号が**紫色**で表示されます。

3

あどばいす

• 見たくない(不要な)チャンネルをチャンネルスキップの設定にしておくと、チャンネル▼/▲ボタンで選局するときにスキップする(飛び越す)ことができます。
• スキップの設定をしたチャンネルを見たいときは、ダイレクトチャンネルボタンで選局できます。（画面表示番号は紫色になります。）
• スキップの設定をしたチャンネルを復帰させるには **1**～**4**の操作後、音量▽ボタンを押すと、前回設定されていた番号が復帰します。（画面表示番号は水色になります。）
• **5**の操作後、音量△ボタンを2回押すと、ほかのCH番号を選ぶことができます。
• 13～24のCH番号に設定されたチャンネルは、チャンネル▼/▲ボタンで操作してください。

■画面表示番号の変更／受信チャンネルの変更

例えば… ● リモコンの[3]を押したとき、受信チャンネルを[19]、画面表示番号[19]にするには…

• 前ページ「見たくない（不要な）チャンネルをスキップ（飛び越す）するには」の **1**～**3**の操作をします。

4 を押す。

• カーソルが**受信チャンネル**に移動します。**チャンネル▼/▲ボタン**で、受信チャンネルを「**19**」にします。

5 音量△ を押す。

• カーソルが表示番号に移動します。**チャンネル▼/▲ボタン**で、表示番号を「**19**」にします。

6 メニュー を押す。

• **通常画面**に戻ります。

19

あどばいす

• CH番号と受信チャンネルが同じときは、表示番号の変更はできません。すべて同じ番号となります。
• 表示番号はCH番号か受信チャンネルしか選べません。
• **5**の操作後、音量△ボタンを1回押すと、ほかのCH番号を選ぶことができます。

画質調整

1 を押す。

• **チャンネル▼/▲ボタン**で、**画質調整**を選びます。

画質調整
自動チャンネル調整
手動チャンネル調整
調光 [明るい]
おやすみタイマー[切]
選ぶ：▼/▲
決める：△
終る：メニュー

2 を押す。

• **画質調整画面**になります。**チャンネル▼/▲ボタン**で、調整したい項目を選びます。

3 • **音量▽/△ボタン**で選択した項目の数値を調整します。

4 を押す。

• **通常画面**に戻ります。

あどばいす

• 音量▽/△ボタンを押し続けると数値を早く変えることができます。
• 数値は、+28～−28の間で調整してください。
• テレビ/ビデオ1/ビデオ2でそれぞれ独立して画質調整が可能です。

調光設定

■ 調光設定とは

• 液晶画面のバックライトの明るさを調整する設定です。

1

 を押す。

• **チャンネル▼/▲ボタン**で、**調光**を選びます。

画質調整
自動チャンネル調整
手動チャンネル調整
調光　　　　［ 明るい ］
おやすみタイマー［ 切 ］
選ぶ：▼/▲
決める：△
終る：メニュー

2

を押す。

• **調光**の設定を変更できるようになります。

3

• **音量▽/△ボタン**で**調光**を設定します。
• **音量△ボタン**を押すごとに
［ 明るい ］→［ 標準 ］→［ 暗い ］
の順に切り換わります。

4

 を押す。

• **通常画面**に戻ります。

おやすみタイマー

■ おやすみタイマーとは

• おやすみ前にテレビの消し忘れがないようにタイマーをセットできる機能です。

1

 を押す。

• **チャンネル▼/▲ボタン**で、**おやすみタイマー**を選びます。

画質調整
自動チャンネル調整
手動チャンネル調整
調光　　　　［ 明るい ］
おやすみタイマー［ 切 ］
選ぶ：▼/▲
決める：△
終る：メニュー

2

音量 を押す。

• **おやすみタイマー**の設定を変更できるようになります。

3

• **音量▽/△ボタン**で**おやすみタイマー**を設定します。
• **音量△ボタン**を押すごとに
「切→30→60→90→120→切」
と30分単位で120分まで設定できます。

4

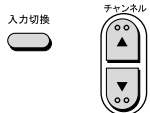
 を押す。

• **通常画面**に戻ります。

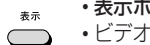
あどばいす

• **残り時間を「切」に設定すると、おやすみタイマーが解除されます。**

その他の機能

■ ビデオなど(映像入力端子に接続した機器)を見るときは

• **入力切換ボタン**で「**ビデオ1**」または「**ビデオ2**」の画面を選びます。
• **チャンネル▼/▲ボタン**を押しても、「**ビデオ1**」または「**ビデオ2**」の画面を選ぶことができます。

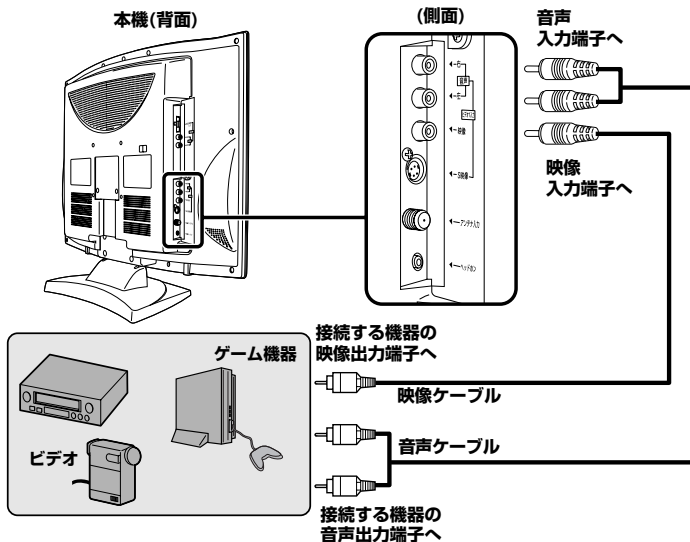
■ チャンネルなどを知りたいときは

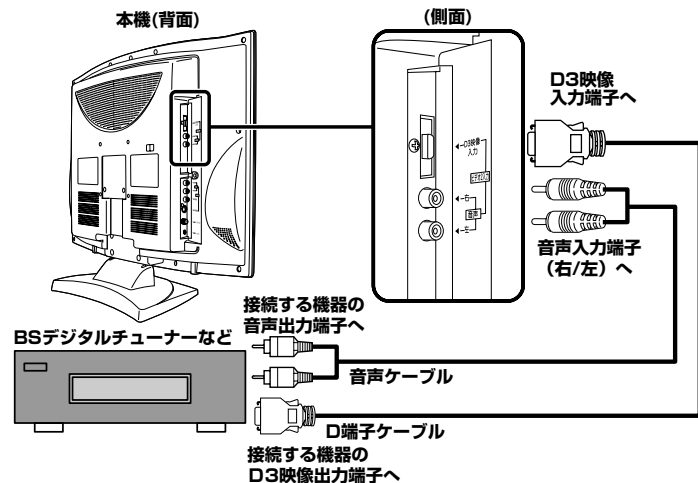
表示

• **表示ボタン**を押します。
• ビデオなどをご覧のときは「**ビデオ1**」または「**ビデオ2**」と表示します。
• チャンネル表示を消すときは、もう一度**表示ボタン**を押します。

■ 音を一時的に消したいときは

• **消音ボタン**を押します。
• 画面に赤色で消音表示がでます。
• 音量をもとに戻すときは、もう一度**消音ボタン**を押します。
音量▽/△ボタンを押しても、消音は解除されます。

他の機器との接続

■ ビデオ・ゲーム機などの接続

■ D3映像出力端子付デジタル機器との接続

（ビデオ2入力端子に接続する場合）

・本機側面下部のビデオ１入力端子に接続された機器の音声・映像をご覧になるには、入力切換ボタンまたはチャンネル▼/▲ボタンで「ビデオ１」を選びます。
　S映像入力端子と映像入力端子が同時に接続されている場合は、S映像入力端子の映像が優先されます。
・本機側面上部のビデオ２入力端子に接続された機器の音声・映像をご覧になるには、入力切換ボタンまたはチャンネル▼/▲ボタンで「ビデオ２」を選びます。

あどばいす

・本機を移動する時はすべてのコードを抜いてください。
・電源を切ってから接続してください。
・映像・音声接続用のプラグと端子は、色分けがしてありますのでそれぞれ色が合うようにつないでください。
・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因になります。
・プラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜き取ってください。
・D3映像入力端子はD1/2/3映像出力信号に対応しています。
・機器につないで画像が乱れたり、雑音が出るときは、たがいに近づきすぎていることがありますので充分離してください。
・機器によっては接続が異なる場合がありますので接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。

故障かな？と思ったら

症　　状	原　　因	処　　置
電源がはいらない。	※ 電源プラグがはずれている。	● 電源プラグを**コンセント**に差し込む。
	※ 電源が「切」になっている。	● 電源を**入**にする。
電源が切れる。	※ 無信号のまま15分経過すると自動的に電源が切れます。	● 本機の機能で、故障ではありません。
映像が鮮明でない。	※ アンテナ、アンテナ線が破損、断線している。	● アンテナ、アンテナ線を点検し、**破損部分は交換する。**
画面にはん点が出る。	※ 自動車、電車、ネオンなどの妨害電波を受けている。	● アンテナの**向きを調整**する。
画面がブレる。	※ 強風のためアンテナが揺れている。	● アンテナが揺れないように**強く固定**する。
画面にシマが出たりカラーが白黒になる。	※ 近くでアマチュア無線をしている放送局がある。	● アンテナの**向きを調整**する。
画面の色が悪い。	※ 色の調整にズレがある。	● **メニューボタン**で**画質調整**を選び調整する。
画面に何も映らず音もでない。	※ 電源プラグがコンセントから抜けている。	● 電源プラグを**コンセント**に差し込む。
	※ チャンネルが「ビデオ1」、「ビデオ2」になっていて、映像端子、音声端子に接続されていない。	● 外部機器との接続を確認する。 ● チャンネルを現在放送中の局に合わせる。
画像が尾を引いて見えたり、表示が暗い。	※ 周囲温度が低すぎる。	● 液晶テレビの仕様に合った温度（5℃～４０℃）に設定してください。
静止画を連続表示すると残像が発生する。	※ 液晶パネルの特性です。	● 時間をおくと正常に戻ります。
表示上に黒点（光らない点）や輝点（光ったままの点）がある。	※ 液晶パネルの特性です。	● 有効画素に対して 0.005%未満の黒点や輝く点が発生します。故障ではありません。
リモコンで操作できない。	※ リモコンがリモコン受光部に向いていない。	● リモコンを**リモコン受光部**に向ける。
	※ リモコンと本体が離れすぎている。	● **7m以内**の所で操作する。
	※ リモコンとリモコン受光部の間に障害物がある。	● **本体に近付くか、障害物**を取り除く。
	※ リモコンの電池が消耗している。	● 電池を**交換**する。
	※ リモコンに水など水分を含む物をこぼした。	● リモコンの点検が必要です。**お近くの販売店や弊社サービスセンターにご相談ください。**
	※ 本体が故障している可能性があります。	● ラジオを利用し、次のようなチェックを行ってみてください。AM放送で放送局のない周波数（雑音の出る状態）に合わせ（音量は大きめ）、ラジオのそばで任意のボタンを押します。雑音の中にブ、ブ、ブのような音が聞こえたらリモコンは正常で、本体が故障している可能性があります。**お近くの販売店や弊社サービスセンターにご相談ください。**
電源プラグを壁コンセントにさした時、火花が一瞬発生する。	※ 電源プラグをコンセントに差し込んだ一瞬、電源プラグの刃先に電流が流れることにより発生する現象です。電源投入時、電源回路の電解コンデンサーに電荷がたまるまでの間、インラッシュ電流が流れることにより発生します。	● 製品の安全上全く問題はありませんが、頻繁に抜き差しされますと、コンセント側の金具が緩んだり、火花跡が付いたり、コードの半断線につながります。頻繁に電源コードを抜き差しされます時は、市販の「電源スイッチ付コンセント」をお買い求め頂き、その電源スイッチで「入り・切り」を行うようにしてください。
時々「ピシッ」と音がする。	※ 室温の変化によってキャビネットがわずかに伸び縮みして、音を発する場合があります。	● 画面や音声に異常がなければ、故障ではありません。
チャンネルを切り換えたとき一瞬画面が黒くなる。	※ チャンネルを切り換えると必ず発生する受信周波数の乱れに伴うノイズを防ぐために、一瞬画面が黒くなります。	● 本機の機能で、故障ではありません。

追加説明

■ 仕様

都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

	項目	仕様
一般仕様	型　番	FL-20RV
	種　類	液晶テレビ
	受信方式	NTSC方式
	受信チャンネル	VHF : 1～12ch　/　UHF : 13～62ch　/ CATV : C13～C63ch
	液晶画面サイズ（有効画面寸法）	20V型　408（幅）×306（高さ）×510（対角）mm（640 × 480画素）
	音声最大出力	1W (8Ω)×2
	スピーカー	φ7.1cm×2
	アンテナ端子	UV1軸アンテナ入力端子
	接続端子	映像入力端子 : 1系統　/　音声入力端子 : 2系統　/　S映像入力端子 : 1系統　/　D3映像入力端子 : 1系統
	ヘッドホン端子	φ3.5mmステレオジャック
その他	使用電源	AC 100V
	消費電力	52W（待機時0.8W）
	許容温度範囲	5℃～40℃
	許容湿度範囲	80%以下
	外形寸法	チルトスタンド設置 : 620(幅)×269.2(奥行)×483(高さ)mm
		チルトスタンド無し : 620(幅)×115(奥行)×428(高さ)mm
	重量	チルトスタンド設置 : 8.2kg
		チルトスタンド無し : 6.7kg

■ アフターサービスについて

1）**保証書（梱包箱に貼付けしてあります。）**
保証書に販売店名と購入日（購入日を証明する納品書や領収書）がありませんと保証期間内でも万一故障がある場合に有償修理になることがあります。内容をご確認の上、本取扱説明書と共に大切に保管してください。

2）**保証期間はお買い求めの日から1年間です。**
業務用や特殊使用の場合、保証期間内でも「**有償修理**」となります。

3）**アフターサービスのご依頼について**

◆保証期間中、万一製品が故障してしまった場合
この取扱説明書の「**故障かな?と思ったら**」をよくお読みになり、点検を繰り返しても正常に作動しないときは、商品に保証書を添えて、販売店にご持参いただくか、または最寄りのサービスセンターまで梱包の上、ご送付ください。（製品が破損しない様にご注意ください。）保証書の記載内容に従って修理させていただきます。

◆保証期間を過ぎて製品が故障してしまった場合
販売店にご持参いただくか、または最寄りのサービスセンターまで運賃元払い（お客様ご負担）にて、右記枠内の内容を記載した用紙を添付し、ご送付ください。修理によって製品の機能を維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理をご依頼される際にご連絡いただきたい内容：
- **ご住所・ご氏名・電話番号**
- **故障または異常の内容**
- **製品名・製造番号・ご購入日**

4）**アフターサービスについてご不明な点は…**
販売店、または最寄りの**サービスセンター**までお問い合わせください。

5）**補修用性能部品の最低保有期間**
このテレビの補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打切後最低8年間保有してあります。

■本製品についてのご質問やその他ご不明な点は、下記**お客様ご相談室**までお問い合わせください。

【船井電機株式会社　お客様ご相談室】☎(072)871-1110　FAX (072)871-1199

■インターネットからもお問い合わせを受け付けております。
くわしくは、船井電機株式会社ホームページ（ http://www.funai.jp）の「**お客様ご相談室**」をご覧ください。

【船井サービス株式会社】

北海道サービスセンター　〒060-0061　北海道札幌市中央区南一条西10-4　南大通ビルアネックス1Ｆ
☎(011) 281－0130 FAX (011) 281－0137

東北サービスセンター　〒984-0046　宮城県仙台市若林区二軒茶屋3-5　鴨原ビル1Ｆ
☎(022) 299－1658 FAX (022) 299－1662

関東サービスセンター　〒192-0363　東京都八王子市別所1-18-10
☎(0426) 79－5402 FAX (0426) 79－5406

中部サービスセンター　〒466-0064　愛知県名古屋市昭和区鶴舞3-4-3　富田ビル2Ｆ
☎(052) 735－0440 FAX (052) 735－0441

近畿サービスセンター　〒577-0012　大阪府東大阪市長田東3-2-43　長田SKパークビル1Ｆ
☎(06) 6746－3373 FAX (06) 6746－3374

中国/四国サービスセンター　〒720-2411　広島県福山市加茂町字芦原387-2　中国船井電機(株)内
☎(084) 972－8387 FAX (084) 972－8114

九州サービスセンター　〒812-0014　福岡県福岡市博多区比恵町17-7　サンシティパーキングビル1Ｆ
☎(092) 475－1252 FAX (092) 475－3227

■付属品・部品については、サービスセンターでお求めいただけます。
■インターネットによる修理のご依頼や、付属品のオンラインショッピングは http://www.funai.info/ をご覧ください。

【フナイ販売株式会社】

東日本営業部　〒103-0012　東京都中央区日本橋堀留町1-5-11　堀留Ｄビル5Ｆ
☎(03) 3664－2710 FAX (03) 3664－2760

西日本営業部　〒531-0071　大阪府大阪市北区中津1-6-24　世界長ビル7Ｆ
☎(06) 6485－2710 FAX (06) 6359－2710

※ 所在地、電話番号は都合により変更する場合がございますので、ご了承ください。（2004年 9月 現在）